

(ハウスプラス 登録事業者 設計審査合格時)
(登録事業者 ハウスプラス 保証書発行依頼時)

住宅登録番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事務処理欄

--	--	--

施工状況報告書

枠組壁工法編



本書類は検査員が検査に訪れる際に内容を確認します。検査の際には、検査員が内容を確認できるよう、記入可能な部分の記入を済ませておいてください。

竣工時にはすべての欄に記入し、写真を貼り付け、「保証書発行申請書」と一緒にハウスプラスまでご提出下さい。

工事名称	フリガナ			
建築主				
建設地	〒			
施工会社				
現場責任者	会社名		資格	
記入者	会社名		資格	



ハウスプラス住宅保証株式会社

2000年4月1日 作成
2003年7月1日 改訂

記入要領

1. 施工状況報告項目及び確認内容は次紙以降の内容について行ってください。
2. 記入者署名：複数人で記入を行った場合は、責任者が署名を行ってください。
3. コンクリート打設日・打設状況、使用構造材の仕様等、記入欄が設けてある事項に関してはそれらを記入してください。
4. 施工状況の確認は「方法」の欄に記した方法で行い、「確認」欄にその結果を記入してください。「方法」の内容は次のとおりとする。
 - 1) 目視：施工図等の各種設計図書と実際の施工状況を照らし合わせて目視で確認する。適合していれば、「確認」欄にレ点を記入する。
 - 2) 計測：必要に応じて施工図等の各種設計図書を参考にしつつ実際の施工状況を計測確認する。計測結果を「確認」欄に記入する。「方法」欄に精度が記されている項目に関しては、記入精度を満たしていることを確認する。
 - 3) 書類：各種納品書、品質管理証明書等の確認をする。納品書以外に施工状況の確認に用いた書類がある場合にはその名称を「備考」欄に記入する。工場で工程が実施されるものについては、必要に応じて工場内の品質管理の水準が明らかにされている書類を確認する。
5. 「写真」欄に必要と記載されている事項に関しては写真撮影の上、施工写真シートに写真を貼り付ける。
6. 本書類は検査員が検査に訪れる際に内容を確認します。検査の際には、検査員が内容を確認できるよう、記入可能な部分の記入を済ませておいてください。

施工状況報告書（基礎工事用）

工事名称	
------	--

工事日程

工事種別	日時・天候等			
根切着工月日	月	日		
突固機器				
養生方法				
布基礎ベースコンクリート打設日	月	日	天候	気温
ベタ基礎（耐圧盤）打設日	月	日	天候	気温
立上りコンクリート打設日	月	日	天候	気温
立上りコンクリート打設日	月	日	天候	気温

自主点検月日	年 月 日	記入者		
項目	内 容	方法	確認	備 考
根切 工事	根切りの幅、深さの寸法が適切か	計測		
	床付け面の土質の確認はしたか	目視		
	地業工事を適切に実施したか（1つに1点）	目視	割栗 碎石 杭 省略	
	（地盤改良時）地盤改良報告書は確認したか	書類		
写真	地業全景			

自主点検月日	年 月 日	記入者		
項目	内 容	方法	確認	備 考
基礎配筋型枠工事	基礎の形式は設計図書通りか	目視		
	ベースの型枠の幅・厚さが所定の寸法通り確保できているか	計測		
	鉄筋の径（主筋、スラブ筋、腹筋）及び仕様は設計図書通りか	計測		
	根入れ深さは設計図書通りか	計測		
	鉄筋のかぶり厚さは確保されているか	計測		
	配筋の継手部分の補強は適切か	計測		
	隅角部での横筋の処理は適切か	計測		
	換気口廻り・スリーブ廻りの補強は適切か	目視		
	換気口・人通口の位置は設計図書通りか	目視		
アンカーボルト	性能が明らかな製品を使用しているか	書類		
	アンカーボルトの位置は適切か	計測		
	アンカーボルトの取り付けは適切か	目視		
	アンカーボルトの首の出・埋め込み長さは適切か	計測		
	ホールダウン専用アンカーボルトの仕様は設計図書通りか	書類		
	ホールダウン専用アンカーボルトの仕様は位置は設計図書通りか	目視		
	ホールダウン専用アンカーボルト埋め込み長さは適切か	計測		
写真	配筋 - 基礎立上がり部 配筋 - 隅角部配筋 配筋 - 床下換気口			

自主点検月日	年 月 日	記入者		
項目	内 容	方法	確認	備 考
コンクリート工事	基礎の立ち上がり部分の高さ・幅は設計図書通りか	目視		
	ジャンカ、空洞および亀裂等が発生していないか	目視		
	防湿措置をしているか	目視		
	べた基礎の耐圧盤の天端は GL 設定よりも 50mm 以上高く打設されているか	計測		
	つか石の配置は設計図書通りか	目視		
換気	ねこ土台の場合に、材質、厚さ、設置位置及び間隔は設計図書通りか	書類 計測		
写真	基礎全景			

施工状況報告書（枠組壁工専用 - 建込み）

工事名称						
自主点検月日	年	月	日	記入者		
土台敷設	自	年	月	日		
	至	年	月	日		
上棟	自	年	月	日		
	至	年	月	日		

項目	内 容	方法	確認	備 考
使用材	使用している材料は仕様通りか	目視 計測 書類		
	構造上主要な部分（柱、間柱、梁、桁、筋かい、窓台、まぐさ、根太）の含水率が 20%以下（ただし、杉、米桐は 25%以下）であるか 自然乾燥の場合は、自然乾燥に要した時間を備考欄に記入する	目視 書類		
	材料に極端な割れ、反り及び捻れはないか	目視		
アンカーボルト等	隅角部・掃き出し窓の両端に設けてあるか	目視		
	継手および仕口の上木部分、土台切れの個所に設けてあるか	目視		
	継手と干渉はしていないか	目視		
	性能が明らかな製品を使用しているか	書類		
	ホールダウン金物の取付けは適切か	目視		
	ホールダウン金物、アンカーボルトのボルトナットの余長は 3 山以上か	目視		
床づか	床束の種類、間隔および緊結状態は仕様書通りか	目視		
	・木製束（樹種： ）	目視		
	・プラ束（メーカー： ）	目視		
	・鋼製束（メーカー： ）	目視		
	プラ束、鋼製束の取付けはメーカーの説明書通りか	目視		
	束石・束・大引に浮きはないか	目視		
	根がらみは設けてあるか（木製束時）	目視		

項目	内 容	方法	確認	備 考
枠組壁工専用（構造体）	土台	土台の位置は設計図通りか	計測	
		基礎と土台に著しい隙間がないか	計測	
		土台のレベルは水平か	計測	
	パネル	壁パネルの割付は設計図書通りか	目視	
		耐力壁の位置及び仕様は設計図書通りか	目視	
		壁パネルは垂直に建っているか	計測	
		床下換気口、人通口はまぐさ受けの下部を避けているか	目視	
	大引	床下換気口、人通口は大引きを避けているか	目視	
	その他	配線、配管等によるたて枠、床根太などの欠損はないか、欠き込んだ場合は適切な補強を行ったか	目視	
			目視	
		部材の接合部に隙間はないか	目視	
		根太の間隔は設計図書通りか 和室（@ mm）洋室（@ mm）	計測	
補強金物	接合部の補強金物は仕様通りか	目視		
	・各種くぎの種類及びピッチ	目視		
	・ホールダウン金物又は同等認定品	目視		
	・柱脚金物	目視		
	・柱頭金物	目視		
	・帯金物	目視		
	・ストラップアンカー	目視		
	・あおり止め金物	目視		
	・根太受け金物	目視		
	・はり受け金物	目視		
	・かど金物	目視		
	・まぐさ受け金物	目視		
・パイプガード	目視			
防腐防蟻処理	以下の個所に防腐防蟻処理はされているか			
	・GLより高さ1mまでの土台、端根太、端根太ころび止め、側根太、壁のたて枠、構造用パネル等	目視		
	・基礎、束周辺20cm以上	目視		
	防腐防蟻処理加工会社の保証書を確認したか	書類		
写真	防腐防蟻処理1 - 枠組（GLより1m付近、処理薬剤が見えるように） 防腐防蟻処理2 - 基礎・束周辺（処理薬剤が見えるように）			

施工状況報告書（枠組壁工専用 - 小屋組 / バルコニー）

工事名称			
自主点検月日	年	月	日
		記入者	

項目	内 容	方法	確認	備 考
使用材	使用している材料は仕様通りか	書類		
	材料に極端な割れ、反り及び捻れはないか	目視		
小屋組・屋根下地	小屋組の施工は設計図書通りか	目視		
	小屋組に振れ止めが設けられているか	目視		
	むなぎの継手位置が適切か	目視		
	むなぎの継手に添え木を添えているか	計測		
	たるきの間隔は設計図書通りか（@ mm）	計測		
	たるきの継手位置は適切か	目視		
	屋根下地の施工は設計図書通りか	目視		
補強金物	接合部の補強金物は仕様通りか	目視		
	・各種くぎの種類及びピッチ	目視		
	・あおり止め金物	目視		
	・たるき止め金物	目視		
	・根太受け金物	目視		
	・その他	目視		

写真 屋根下地全景

項目	内 容	方法	確認	備 考
木工事（バルコニー）	使用材	バルコニー形状は設計図書通りか	目視	
		下地の材料は設計図書通りか	目視	
		下地材料は乾燥しているか	目視	
	下地	勾配は確実に取れているか（1/50以上）	目視	
		根太間隔は適切か	計測	
		壁際立上りの寸法は確保されているか	計測	
		出入口下端までの空き寸法は確実に取れているか	計測	
		ドレーン・オーバーフローは適切な数が設けられているか	目視	
		ジョイント部にはシールテープ等が貼られているか	目視	
		防水材が施工しにくい箇所を設けていないか	目視	
		手すり壁は防水シート等で覆われているか	目視	
	仕上り	防水材メーカーの施工要領を守っているか	目視	
		ドレーンキャップが設置されているか	目視	
		防水層の膨れ・窪み等がないか	目視	

写真 バルコニー下地全景

施工状況報告書（屋根工専用）

工事名称						
自主点検月日	年	月	日		記入者	
屋根下葺	自	年	月	日		
	至	年	月	日		
屋根葺上	自	年	月	日		
	至	年	月	日		

項目	内 容	方法	確認	備 考
形状	屋根形状は設計図書通りか	目視		
下葺	下葺の材料は設計図書通りか ()	書類		
	下葺の施工は設計図書通りか			
	・重ね合わせ部	目視		
	・谷部	目視		
	・壁当り部	目視		
	水切りの施工は設計図書通りか			
	・谷部	目視		
	・壁当り部	目視		
	・トップライト部	目視		
	葺上り	葺上材の種類は仕様書通りか	書類	
葺上り状態は適切か				
・全体		目視		
・谷部		目視		
・壁当り部		目視		
・トップライト部		目視		
棟換気の設定位置は設計図書通りか		目視		
雪止めの施工は設計図書通りか		目視		
軒（ケラバ）の出寸法は設計図書通りか	計測			
写真	下葺1（ルーフィング等重ね代がわかるように） 下葺2（谷部・壁当り部） 下葺3（水切り部） 葺上り（屋根全景） 枠組全景 外壁仕上げ（全景）			

施工写真シート

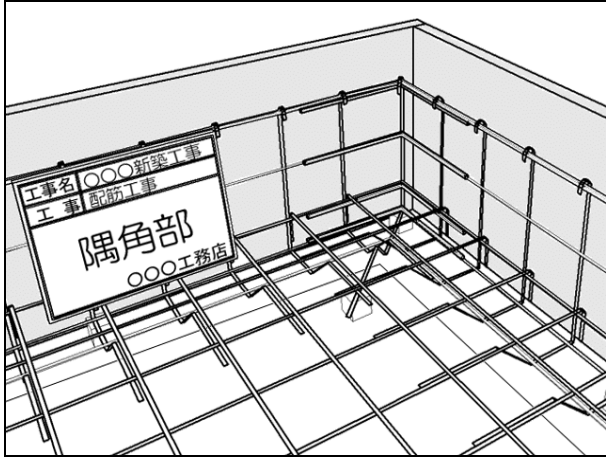
1 . 基礎工事

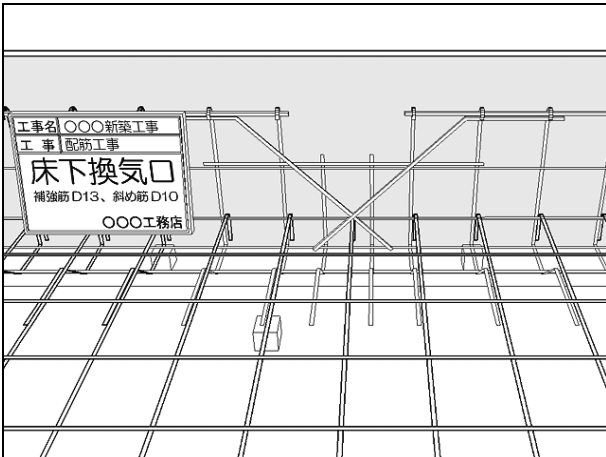
この「1 .基礎工事」の施工写真シートは2回目検査の際に検査員が内容を確認します。2回目の検査にお伺いするまでには、この「1 .基礎工事」の施工写真シートへの記入・写真張り付けを済ませておいてください。

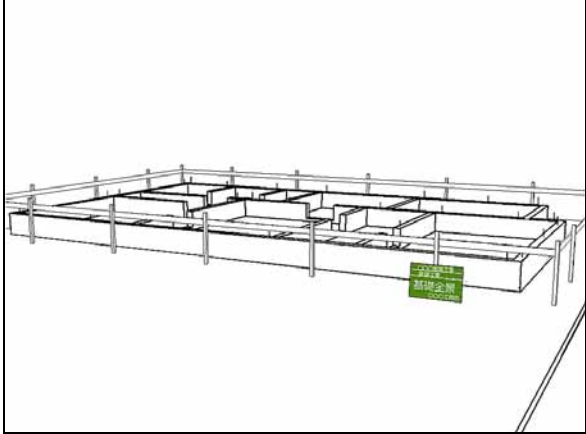
施工写真添付に関する注意事項

- ・当該工事・部位の施工状況がわかるような写真を貼り付け、必要に応じて簡単な説明を記入してください。
- ・全景は定点撮影を基本として下さい。
- ・該当写真が撮影できなかった場合はその理由を記述してください。
- ・ハウスの検査が行われる際には、必ず携行の上、検査員に提示してください。



<p>写真</p>  <p>配筋 - 隅角部 (隅角部の処理がわかるように撮影)</p>	配筋工事
	隅角部
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>配筋 - 床下換気口 (補強筋等の処理がわかるように撮影)</p>	配筋工事
	床下換気口
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>基礎全景</p>	配筋工事
	基礎全景
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____

施工写真シート

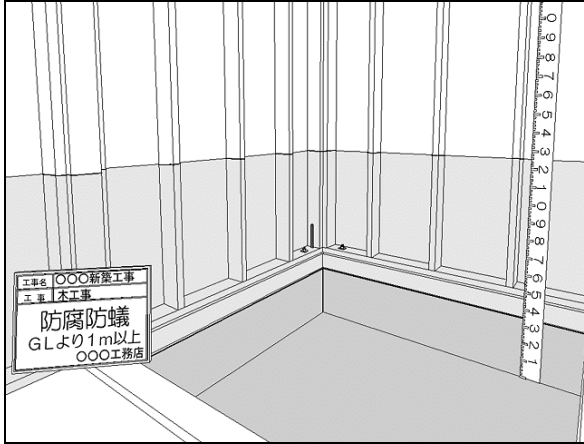
2 . 木工事

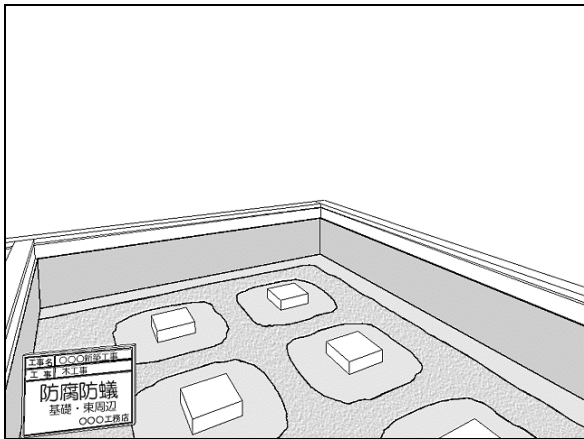
この「2 . 木工事」の施工写真シートは保証書発行申込書提出の時に併せてご提出いただき、ハウスプラスで内容を確認します。保証書発行申込書提出時には記入、写真張り付けを済ませておいてください。

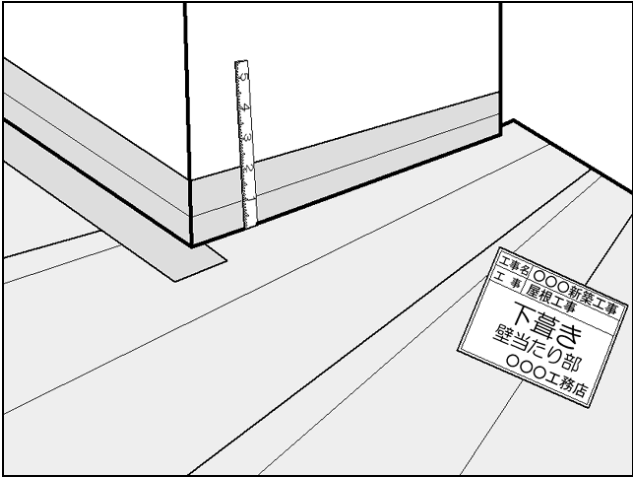
施工写真添付に関する注意事項

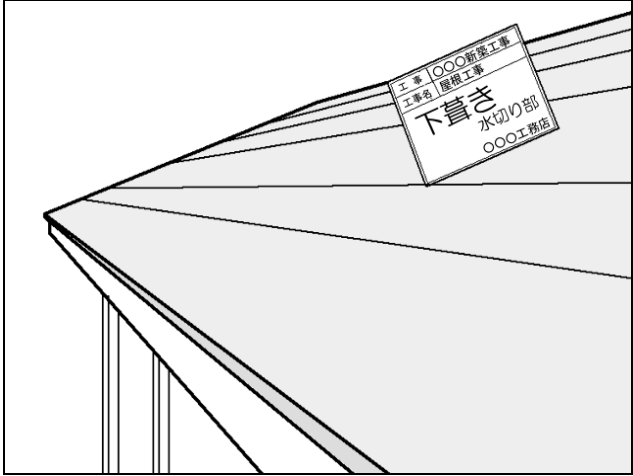
- ・当該工事・部位の施工状況がわかるような写真を貼り付け、必要に応じて簡単な説明を記入してください。
- ・全景は定点撮影を基本として下さい。
- ・該当写真が撮影できなかった場合はその理由を記述してください。
- ・ハウスプラスの検査が行われる際には、必ず携行の上、検査員に提示してください。

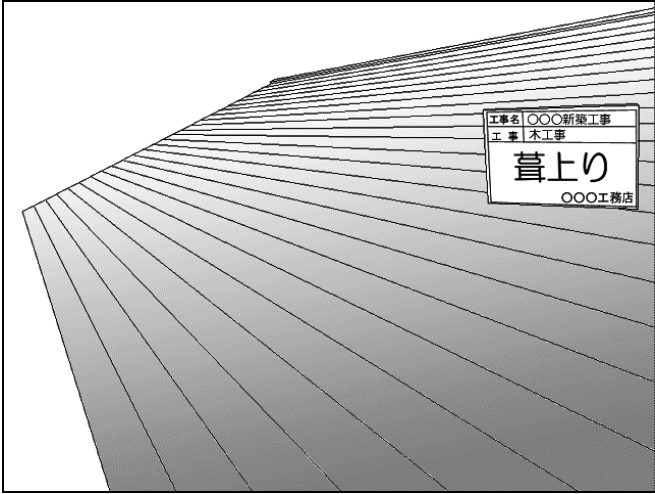


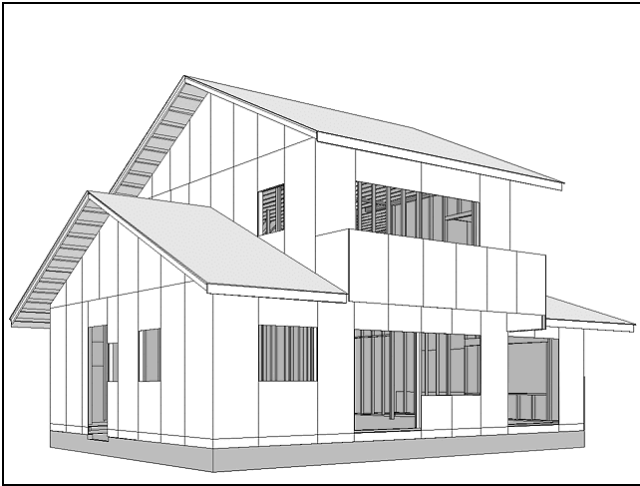
<p>写真</p>  <p style="text-align: center;">防腐防蟻処理 1 - 枠組 (G . L . より 1 m 付近、処理薬剤が見えるように。 透明な処理剤の場合は施工状況がわかるように)</p>	木工事
	防腐防蟻処理
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

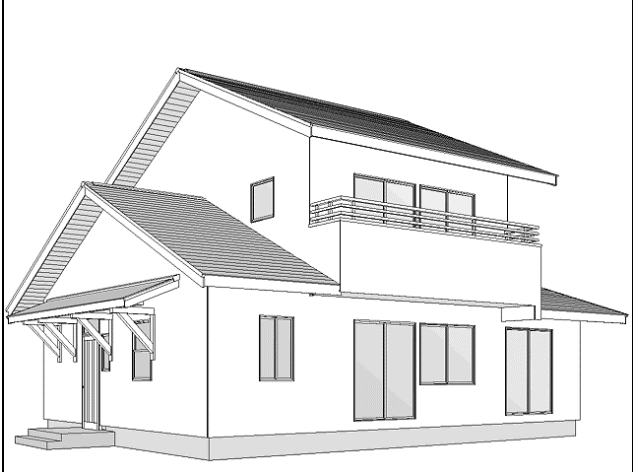
<p>写真</p>  <p style="text-align: center;">防腐防蟻処理 2 - 基礎・束周辺 (処理剤が見えるように)</p>	木工事
	防腐防蟻処理
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>下葺き 2 (谷部・壁当たり部)</p>	屋根工事
	下葺き 2
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>下葺き 3 (水切り部)</p>	屋根工事
	下葺き 3
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>葺上げ (屋根全景)</p>	屋根工事
	葺上げ
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>枠組全景</p>	軸組
	枠組全景
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO

<p>写真</p>  <p>外壁全景</p>	外壁
	外壁全景
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO ----- ----- ----- ----- ----- -----

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____

<p>写真</p> <p>予 備</p>	
	撮影日： 年 月 日
	撮影者：
	MEMO _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____

ハウスプラス瑕疵保証住宅
施工状況報告書
枠組壁工法編
2003年度版

発行 ハウスプラス住宅保証株式会社
〒105-0011 東京都港区芝公園 1-8-12
芝公園高橋ビル3階
電話 03-5777-1434(代表)
ファックス 03-5777-1435
ホームページ <http://www.houseplus.co.jp/>

編集 ハウスプラス住宅保証株式会社
e-mail info@houseplus.co.jp

禁無断転載

非売品